

# 第22回 日本免震構造協会賞 - 2021 -

第22回日本免震構造協会賞は、右の8件に決定した。

## 表彰制度の目的

免震構造等の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した個人、法人及び団体に対して表彰することにより、免震構造等の技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

## 表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著な個人に、技術賞は、免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果を上げた個人、法人及び団体に、作品賞は、免震構造等の特質を反映した格別に優れた建築物等の実現に主たる貢献を行った個人、法人及び団体に、業績賞は、免震構造等の特質を反映した、建築物等の優れた設計、改修、保全、維持、復元、困難なプロジェクトの実現等において際立った業績をあげた個人、法人及び団体に、普及賞は、免震建築物・免震啓発活動・免震に係わる装置等により免震構造等の普及に貢献した個人、法人及び団体に贈る。

## 表 彰

2021年6月30日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

## 一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

彦根 茂(委員長) 井田卓造 江副敏史  
下吹越武人 竹内 徹 畠中克弘 東野雅彦  
三田 彰

## 審査経過

本年度の応募申請は、応募区分では、技術賞1件、作品賞12件、業績賞4件および普及賞1件であった。第1回表彰委員会に於いて書類審査による1次審査を行った。技術賞1件、作品賞6件、業績賞2件、および普及賞1件について、2次審査のヒアリングもしくは現地審査を予定した。新型コロナウイルスの蔓延に伴い12月以降の現地審査、ヒアリングをすべてビデオ審査とした。なお、各応募申請の関係者である審査委員は、その審査から外れることで、厳正な審査となるよう配慮した。

技術賞として選出した「免震層の変位計の開発」は、直立型で、計測機構がシンプルで場所を取らなく、高精度の時刻歴変位記録が得られると評価された。広く設置される事を期待する。

作品賞の応募は、建築用途別に、公共2件、企業6件、医療2件、共同住宅2件。基礎免震構造7件、1階柱頭免震構造1件、多段の基礎免震2件、制振構造+TMD制振構造1件、ソフトストーリー制振構造+ATMD制振構造1件であった。2次審査を踏まえて、第2回表彰委員会でビデオ審査を行い、作品4件を選出した。旧楓川護岸を避けて地下形状を設定し基礎免震構造とし、外周を「ミチ」、内側を「ワークプレイス」とした空間計画、透明性の高いファサードを有する本社ビルの評価は高かった。地方に建つ庁舎2件は、基礎免震構造により防災拠点としての耐震性能

## 選 考 結 果

第22回日本免震構造協会賞受賞は下記の8件である。

### I 技術賞

- 1) 免震層への設置を想定した  
直立型ロングストローク変位計の開発  
株式会社竹中工務店 曾根孝行 山本雅史  
吉澤陸博  
株式会社東京測振 永田 正

### II 作品賞

- 1) 嘉麻市庁舎  
嘉麻市 株式会社久米設計 福田光俊 永野孝之  
福田哲也  
2) The Okura Tokyo  
大成建設株式会社 豊島裕樹  
株式会社ホテルオークラ 荻田敏宏  
大成建設株式会社 田口 晃 佐々 実  
早稲田大学 早部安弘  
3) NIPPO 本社ビル  
株式会社 NIPPO 中山裕之 阿部信之  
株式会社日本設計 中村 伸 市丸貴祐  
橋列哲也  
4) 天草市庁舎  
天草市 馬場昭治  
株式会社日建設 長瀬 悟 宇田川貴章  
刀田健史  
株式会社安藤・間 若林和之

### III 業績賞

- 1) 新宿住友ビルの制振改修  
株式会社日建設 吉江慶祐 宇田川貴章  
風間宏樹 ジロン・ニコラ  
大成建設株式会社 岩波政雄  
2) 香川県庁舎東館(高層棟・低層棟)  
香川県知事 浜田恵造  
株式会社大林組 江村 勝 岸 浩行  
高橋信之  
株式会社松田平田設計 上村 晋

### IV 普及賞

- 1) 免震体感向上システムを用いた免震建物の啓発活動  
株式会社竹中工務店 米田春美 浜辺千佐子  
北野信吾 濱口弘樹  
山本雅史  
(敬称略)

を有し、それぞれ効果的な省エネルギー、住民の使い良さを具体化しており両作品共に評価が高かった。グレードの高いホテルは、制振構造を採用しEXPジョイントが不要となる合理性と建替前に長く親まれたロビー空間を忠実に再現したこともあり高評価を得た。

業績賞には2件を選出した。長周期、長時間地震対策として耐震改修設計施工を行った超高層ビルは、建物形状に相応しく、限られたスペースでの効果的なダンパー設置計画と施工が優れていた。文化的建築的価値のある庁舎の保全と防災拠点化では、耐震性を確保し、綿密な調査と設計施工によって基礎免震構造化と県民に開かれた建築の再現に成功した。

普及賞として選出した「免震体感向上システムを用いた免震建物の啓発活動」は、日本の免震技術を国際的に広める上でも高く評価された。  
(彦根 茂)